

# 大垣市民病院

## 病院の概要

開設時期：昭和34年10月1日  
開設者：大垣市長 石田 仁  
院長名：豊田 秀徳  
許可病床数：817床

標榜科：内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、精神科、小児科、第2小児科（小児循環器、新生児科）、外科、消化器外科、小児外科、乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科（胸部外科）、呼吸器外科（胸部外科）、形成外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線診療科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科

医師数：213名  
指導医師数：72名  
外来患者数：1,835名/日  
入院患者数：560名/日  
所在地：大垣市南類町4-86  
URL：http://www.ogaki-mh.jp/



## 病院の特徴

大垣市民病院は岐阜県下最大の急性期病院で、大垣市を中心とした西濃医療圏約35万人の基幹病院として、日々発展し続けております。当院は医師臨床研修施設、地域がん診療連携拠点病院、小児科救急医療拠点病院、岐阜県地域周産期母子医療センター認定施設等に指定されております。

2012年度には、最先端機器を備えた救命救急センターが完成し、全ての救急患者を受け入れる体制を整えております。

## 院長メッセージ



豊田 秀徳

岐阜県西濃地方の大垣市に位置する中核病院です。「大垣」という名は知らない人も多いかもしれませんが、医療関係者にとって「大垣市民病院」を知らない人がいたとしたらモグリです。大垣市民病院は岐阜県だけでなく、全国の医療関係者が知っている病院です。「Gifu prefecture」「Ogaki city」は知らなくても「Ogaki Municipal Hospital」を知っている海外の臨床家・研究者も少なくありません。それはさておき、研修医の先生への魅力をあげれば代表的な症例から稀な症例まで多岐にわたる症例を短期間で経験できること、しっかりした教育体制が整っていること、高度な医療を実践していること、給料がいいことなどでしょうか。「研修は大垣市民病院で行った」はひとつのステータスです。医師は最初の3年間の過ごし方がその後を決めると言われます。自分のキャリアを作るのに適した当院の初期研修への応募を期待しています。

## 指導医メッセージ

当院は全ての科において豊富な症例が経験できます。また経験できる疾患群は common disease から稀なものまで多岐にわたります。各科の持つ診療技術も高度であり、プライマリケアのみでなく、先進的な医療も経験できます。初期研修にとって特に重要な分野である救急においては、一次から三次までの救急医療を経験でき救急車搬送台数も有数であることから、高度かつ実際の研修が可能です。また、多い症例数が消化不良にならないように、研修医全体の教育単位を用意し、さらに各科でのカンファレンスも充実しています。頑張れば本物の実力がつく病院と自負しています。

## 研修医メッセージ

1年目：大垣市民病院での研修が始まって早2ヶ月が経ち、毎日非常に充実した研修生活を送っております。当直業務も始まり、実力不足を痛感する日々ですが、同期や2年目の先輩、上級医の先生や、コメディカルの方々に支えてもらい貴重な経験をさせていただいています。当院は忙しいイメージがあるとは思いますが、熱意のある先生が多く、先輩方のフォローやフィードバックが充実しており、医師としての地盤を固めるには最高の環境が整っていると思います。ぜひ一度見学に来て、当院の雰囲気を感じていただけたら幸いです。  
2年目：当院は大垣市の中核を担う病院であり、幅広い症例を経験することができます。救急外来では研修医が first touch し、多くの経験を積むことができ、様々な状況に対応することのできる医師となれるでしょう。日々のローテでは教育的な指導医のもと、自身が中心となり医療を学ぶことのできる体制が整っています。当院での研修は忙しいですが、それに見合う充実感があり、研修医はやる気に満ち溢れています。ぜひ一度見学に来てみて、当院の雰囲気を実感してください。

## 研修スケジュール

①必修科目はもれなく研修でき、全診療科研修を必修とするスーパーローテーション方式研修で、豊富な症例数と充実した指導体制の下で医師としての基礎力形成に適している。

②いわゆる「マイナー科」も充実している為、自分の興味に沿った選択科目を研修でき、専門科の決定や広汎な知識の獲得に有用である。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科系・外科系・小児科系・産婦人科・救急・麻酔科											
2年次	地域医療・産婦人科・精神科・救急・麻酔科・選択科目											

## 研修協力病院・施設

【精神科】大垣病院、西濃病院、養南病院  
【地域医療】関ヶ原診療所、揖斐郡北西部地域医療センター、飛騨市民病院、海津市医師会病院  
【保健・医療行政】西美濃さくら苑、くすのき苑

## 後期研修・専門研修（予定）

専門医取得について外科・内科・麻酔科は基幹病院指定を受け、その他の科も大学等の連携病院となっています。3年目以降も当院でシームレスな高度知識と技術の修得が可能です。

## 研修プログラムの目標

臨床研修の目的は、医師としての基本姿勢、倫理、使命感の養成及び、専門医に至る道のりとしてのプライマリケアを中心とした基礎知識と基礎技術の修得、さらに患者・家族から信頼される医師を目指すことにある。また、医師がより良い医療行為を行うために必要な協体制度がいかに構築されているかを知り、看護師、検査技師、薬剤師などと協調性をもって仕事ができるようになることも重要である。

## 研修プログラムの特徴

豊富な症例数と高度な医療技術が備わった病院で、common disease も稀な疾患も実体験でき、診断から治療の完結までをフォローすることができます。救急は一次から三次までをカバーし、救急車の搬送数も全国屈指であるばかりでなく、濃厚な教育で救急的な対処法を学ぶ機会があるため、救急対応能力が飛躍的に身につきます。また、各診療科の検討会、研究会や医学会にも参加するほか、臨床病理検討会（CPC）では症例の提示・発表を行います。1年次には、研修医基本講座として、各診療科の救急におけるプライマリ・ケアの実習および講義を行い、CT・US検査実習、シミュレーション研修などを行います。救急センターで経験した特徴的な症例を、毎月開催される救急症例検討会で発表し、知識・対応方法の共有化を図ります。実践力をつけるには最適な病院と思いますので、皆さんのご応募をお待ちしております。

## 募集要項

応募資格：令和8年3月に医師免許を取得する見込みである者  
募集人員：医科18人（予定）  
身分：任期付職員  
給与：1年目：約7,981,000円  
2年目：約9,904,000円  
→令和5年度実績であり、変動する場合があります  
住居：医師住宅有り、賃貸住宅居住者には家賃補助あり  
保険：岐阜県市町村職員共済組合健康保険、共済年金保険  
その他：学会等における発表者の参加費・旅費病院負担

## 連絡先

電話番号：0584-81-3341  
fax：0584-75-5715  
E-mail：rinken@omh.ogaki.gifu.jp

## 交通案内



大垣駅よりバスで約10分